

第2回練馬区立東大泉第二保育園運營業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

東大泉第二保育園視察

- ・平成22年11月19日（金）午前9時30分～11時
出席者：有識者1名、児童青少年部長、保育課長
東大泉第二保育園長、事務局
- ・平成22年11月24日（水）午前9時30分～11時
出席者：学識経験者1名
東大泉第二保育園園長、事務局
- ・平成22年12月2日（月）午前9時30分～11時
出席者：学識経験者1名、有識者1名、区立保育園園長経験者1名
東大泉第二保育園園長、事務局

1 園長より東大泉第二保育園の概要説明

2 園内視察

3 選定委員からの主な質問と回答

Q 朝夕保育、延長保育の利用状況および委託後のニーズはあるか。

A 朝は7時15分にはもう待機している家庭が複数あり、委託後は7時からの開所となるので、ニーズは充分あると考えられる。夕方の延長保育は、現在でも欠員状態である。しかし乳児は定員枠いっぱいでもスポット利用も要望が高いため、ニーズはある。最近では、土曜日保育利用者が増えている。（30人～40人）

Q 土曜日の保育体制はどうしているのか。

A 0・1歳児（前半は0歳児単独で保育を行う）、2・3歳児、4・5歳児の3グループに分かれて保育を行っている。

Q アレルギー食への対応をしているとのことだが、種類は何か。

A 小麦、大豆、卵など種類は様々である。宗教食への対応も行っている。個別にトレーを使用して配膳し、誤食の無いようにしている。

Q おたのしみ献立とは、どのようなものか

A 行事食がある月を除き、月1回講師を招いてのリズムあそびの日におたのしみ献立を実施している。

Q 日頃の保育活動や子どもの様子を保護者に写真で紹介する取り組みを行っているか

A クラスだよりや園だよりに日頃の保育の様子を写真で載せて配付し紹介している。行事に関する写真は掲示を行っている。

Q 障害児の受け入れはあるか。

A 今年度は4名在園している。障害児の入園希望も多く、園見学にも多くの方が来られる。

Q 4歳児の誕生会は毎回同じ形で行われるのか、年に何回あるのか

A 4歳児クラスは毎回同じ形で行い、一人ひとりその子の誕生日にお祝いしている。5歳になることにちなんで誕生児に5つの質問をしているが、一年間で必ず全員が質問する場がある。

Q 異年齢交流はどのように行われているのか。

A 前半は4.5歳児のみでリズムあそびや散歩などを楽しみ交流を深めて、運動会にて4.5歳児で発表する場を設けている。運動会後の11月頃から3歳児を迎えての異年齢活動となり、あそびを中心に交流し、春の会では、3.4.5歳児のグループ毎に発表をしている。

Q 東大泉第二保育園の保育の特徴としてあげられるものはなにか。

A リズムあそびへの取り組みと、園庭も含め近隣の公園など豊かな自然環境に恵まれていることである。乳児でも楽しめる公園や小路が周辺にたくさんある。散歩先で木の実を拾うなどの探索活動や、園庭においても畑での栽培など自然に触れる経験を十分にできる。リズムあそびは今年で3年目となる。子どもたちがリズムあそびを通して身体の各部位をしっかりと使うことで、以前のように転びやすいとか手が出なくて顔面を怪我するということが少なくなっている。

Q 地域とのつながりという点ではどのような取り組みを行っているのか。

A 毎月1回地域交流を実施している。内容は、園庭開放、ふれあい給食、在園児と一緒にあそぶなどである。参加者も多く20組来園するときもある。雨天でも2~3組はあそびに来るなど保育園に来ることを楽しみにしている家庭も多い。

他に支援の一環として、月に1回家庭福祉員が保育を行っている児童への給食提供も行っている。保護者の方も喜んでいる。

Q 地域交流に参加している保護者から育児相談を受けることはあるか。

A ある。食事に関する相談も多く、ふれあい給食では栄養士が食事の様子を見に来て保護者からの栄養相談を行っている。当日の献立のレシピも配付し、参考にしてもらっている。